

# 5

## パソコンとの連携

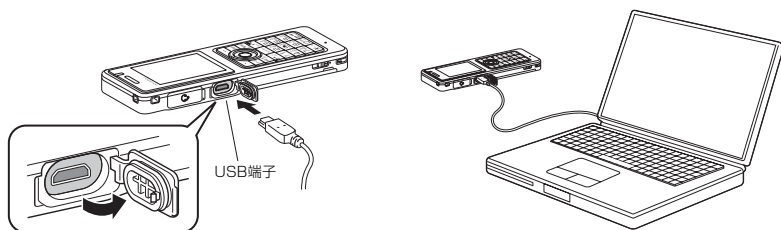
パソコンと接続する.....	5-2
データ通信を行う.....	5-3


# パソコンと接続する

## パソコンと接続する


USBケーブル（Micro USB対応）で、パソコンと本電話機を接続します。接続する前にUSBドライバをインストールしてください。[USBドライバのインストール]（※5-4ページ）

- 1 パソコンを起動し、パソコンのUSBポートにUSBケーブルのコネクタを接続する
- 2 本電話機のUSB端子のカバーを外し、USBケーブルのコネクタ（Micro USB）をUSB端子にまっすぐ差し込む



確認音が鳴り、本電話機の画面に「」が点灯し、「データ通信ON」と表示されます。データ通信が終わったら、USB端子のキャップを閉じてください。

### お知らせ

- 電池パックを外した状態で、本電話機をUSBケーブルに接続しないでください。
- USBケーブルを外すときは、接続と逆の順序で行ってください。
- 本電話機からUSBケーブルを抜くときは、差し込むときと同じようにUSB端子のカバーを押さえて、まっすぐに抜いてください。
- 本電話機よりUSBケーブルを外すと、「」が消灯し、「データ通信OFF」と表示されます。
- USBケーブルでパソコンと接続中に、パソコンから充電することもできます。ただし、パソコンの種類によっては、USBケーブル経由での充電ができないことがあります。[USBで充電する]（※7-6ページ）
- USB充電を「OFF」に設定してパソコンと接続した場合でも、本電話機の電池を消費します。この場合、データ通信を行わなくても待受時間が短くなる場合があります。本電話機の電源を切っても同様に本電話機の電池を消費する場合があります。
- ご利用になるOSによっては、最初に接続してドライバのインストールを行ったUSBポート以外のUSBポートに接続した場合、再度ドライバのインストールや設定が必要となる場合があります。
- 本電話機にUSBケーブルを接続する時には、パソコンが完全に起動していることを確認してから行ってください。完全に起動する前に接続すると、「USBで充電する」（※7-6ページ）の設定に関係なく「高速」で充電されることがあります。
- USBケーブルのコネクタをUSB端子に接続する際には、下図Aのようにコネクタの先端部分の幅が狭い方を上側にして接続してください。下図Bのようにコネクタの向きが逆の状態では接続しようとすると、USB端子やコネクタの先端部分を破損する恐れがあります。



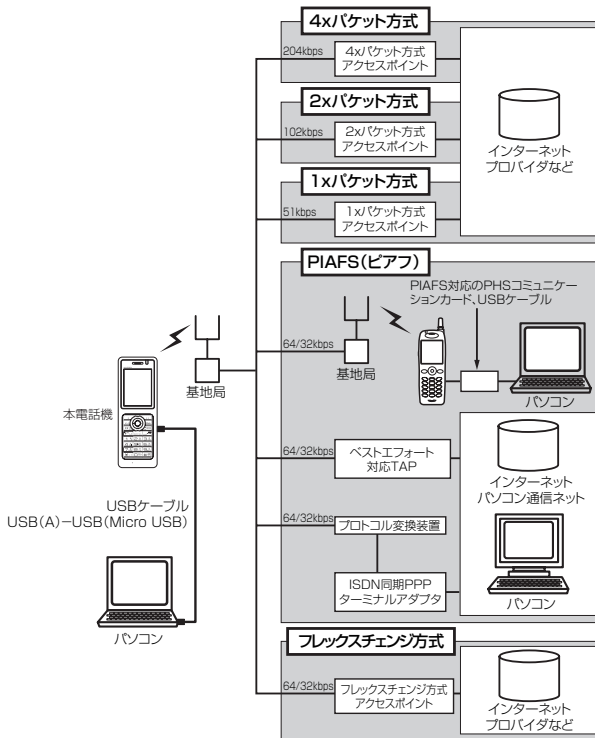
(ACアダプタのコネクタを正面から見た断面図)

# データ通信を行う

## データ通信について

### 利用できる通信方式

本電話機で利用できるデータ通信には、4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、64kPIAFS（ベストエフォート）、32kPIAFS、フレックスチェンジ方式があります。



### ■4xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度204kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

4xパケット方式は、1xパケット通信を4つ束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

## ■ 2xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度102kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

2xパケット方式は、1xパケット通信を2つに束ねることにより、さらにデータ通信速度を向上させています。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ご利用になるには、ウィルコムの2xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

## ■ 1xパケット方式

ウィルコムが提供している最大通信速度51kbpsの通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。

数分間程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。

ご利用になるには、ウィルコムの1xパケット方式対応の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

## ■ 64kPIAFS方式（ベストエフォート）

ウィルコムが採用している最大通信速度64kbpsの通信方式です。

基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度をフレキシブルに選択し、つながりやすく切れにくい通信環境を実現します。

## ■ 32kPIAFS方式

PHSの通信標準規格で最大速度32kbpsの通信方式です。

PIAFS対応のターミナルアダプタ（TAP）やPHSを用いたアクセスポイントに接続することにより、32kbpsの高速データ通信が可能です。

## ■ フレックスチェンジ方式

ウィルコムが提供している最大通信速度64kbpsの通信方式です。通信中のデータ量に従い、「1xパケット方式」と「64kPIAFS（ベストエフォート方式）」を、自動的に切り替え、スムーズな通信環境を実現する通信方式です。

回線使用状況などにより64kPIAFS方式での通信を維持できない場合でも、パケット方式で通信を継続するので、再接続する必要はありません。

ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにお申し込みいただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

### お知らせ

- ・パケット方式の速度表記は、PHS 高度化通信規格（W-OAM）対応基地局利用時の最大通信速度となります。
- ・データ通信に関するお問い合わせ [受付時間] 10:00～18:00（土・日・祝日を除く）

ウィルコムの電話から 局番なし **157** 一般加入電話・携帯電話などから **0120-921-157**

## データ通信用ソフトをインストールする

### USB ドライバのインストール

本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、あらかじめ、本電話機をモデムとして動かすためのドライバをパソコンにインストールする必要があります。

## ■ 本電話機の対応OSについて

本電話機と接続可能なパソコンの対応OSは以下のとおりです。ただし、すべてのパソコンについての動作を保障するものではありませんのであらかじめご了承ください。

## ● Windows

Windows Vista Ultimate  
Windows Vista Business  
Windows Vista Home Premium  
Windows Vista Home Basic  
Windows XP Professional  
Windows XP Home Edition  
Windows 2000 Professional

## ● Macintosh

Mac OS X v10.1.5 ~ v10.4.1, v10.4.3 ~ v10.5.5  
Mac OS 9 v9.2 ~ v9.2.2

### ご注意

- 以下の場合はサポート対象外となりますのであらかじめご了承ください。
  - 自作したパソコンをご使用の場合
  - 対応OSがブレイクインストールされていないパソコンをご使用の場合
  - OSをアップグレードしたり、OSを入れ替えたパソコンをご使用の場合
  - パソコンのハードウェアとOSとの相性により正常に動作しない場合
  - パソコンの設定や環境によって正常に動作しない場合
  - 増設したUSB端子をお使いの場合
  - USBハブなどを經由して接続している場合
  - パソコンに本電話機以外のUSB機器が接続されている場合

ドライバのインストール方法は、お使いのパソコンのOSによって異なります。

- Windows Vistaの場合 (※ 同一ページ内です。)
- Windows XPの場合 (※ 5-7ページ)
- Windows 2000の場合 (※ 5-8ページ)
- Mac OS X v10.5以降の場合 (※ 5-9ページ)
- Mac OS X v10.3.x ~ 10.4.xの場合 (※ 5-10ページ)
- Mac OS X v10.2以前の場合 (※ 5-11ページ)
- Mac OS 9の場合 (※ 5-12ページ)

WindowsはMicrosoft Corporationの、Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標です。

## ■ Windows Vistaの場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(※ 5-2ページ)接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアが見つかりました」の画面が表示され、インストールが開始されます。

- 4 「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックする



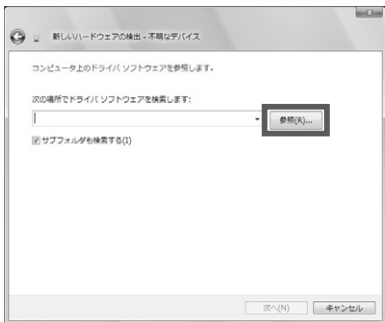
## 5 「オンラインで検索しません」をクリックする



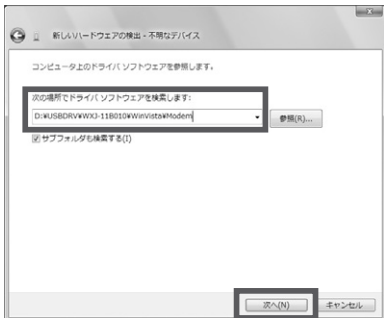
## 6 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)」をクリックする



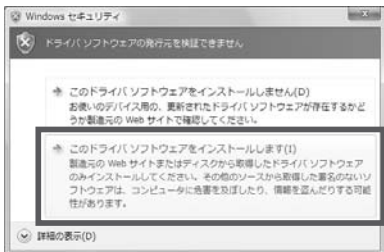
## 7 「参照」をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11B010 ¥WinVista¥Modem」を指定する



## 8 「次の場所でドライバソフトウェアを検索します」が表示されたことを確認し、「次へ」をクリックする

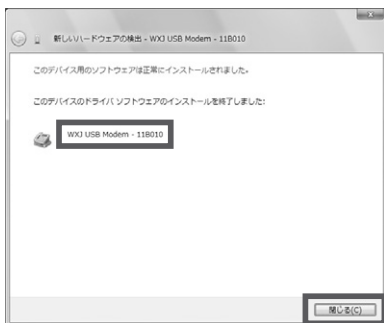


## 9 「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックする



ドライバのインストールが開始されます。

## 10 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11B010」であることを確認し、「閉じる」をクリックする



ドライバのインストールが終了します。

### ご注意

- ・ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

## ■Windows XPの場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(※5-2ページ)接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

- 4 「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、[次へ]をクリックする



- 5 「次の場所で最適なドライバを検索する」および「次の場所を含める」を選択して[参照]をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11A010¥Win2k\_Xp¥Modem」を指定する



- 6 「次の場所を含める」が表示されたことを確認し、[次へ]をクリックする



- 以下の画面が表示されたときインストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、[続行]をクリックしてインストールを続けてください。



## 7 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11A010」であることを確認し、[完了]をクリックする



ドライバのインストールが終了します。

### ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

## ■ Windows 2000の場合

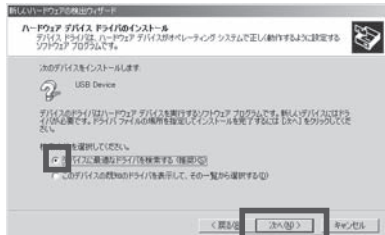
- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 3 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(※5-2ページ)接続を行うと、パソコンのディスプレイに「新しいハードウェアの検出ウィザード」の画面が表示され、インストールが開始されます。

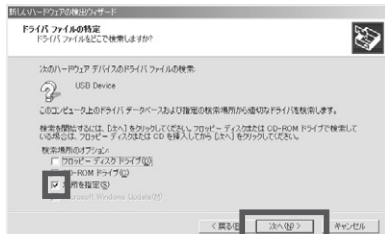
## 4 [次へ]をクリックする



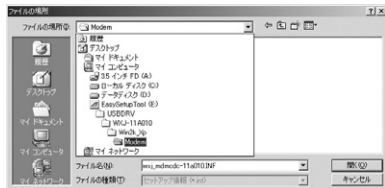
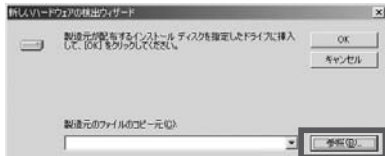
- 5 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする



- 6 「場所を指定」を選択して[次へ]をクリックする



- 7 [参照]をクリックし、「CD-ROMドライブ¥USBDRV¥WXJ-11A010 ¥Win2k\_Xp¥Modem」を指定する



- 8 「製造元のファイルのコピー元」が表示されたことを確認し、[OK]をクリックする





## 9 「ドライバファイルの検索」画面で、[次へ]をクリックする



### ● 以下の画面が表示されたとき

インストール中に、以下の警告画面が表示されることがあります。この場合、[はい]をクリックしてインストールを続けてください。



## 10 インストールされたドライバが「WXJ USB Modem - 11A010」であることを確認し、[完了]をクリックする



ドライバのインストールが終了します。

### ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

## ■ Mac OS X v10.5以降の場合

ドライバはインストールする必要はありません。以下の手順で設定を行うと、本電話機をモデムとして動かすための準備ができます。

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れる
- 2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する  
「パソコンと接続する」(P5-2ページ)
- 3 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、ネットワーク接続サービスのリストから「USBモデム」を選択して「詳細」をクリックする



- 4 [モデム] タブをクリックし、「製造元」プルダウンメニューから「WILLCOM」、「機種」プルダウンメニューから「WXxxxJ (USB)」を選択し、[OK]をクリックする



- 5 ネットワーク設定画面で「適用」をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

## ● ドライバをインストールする場合は

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する  
「パソコンと接続する」(※5-2ページ)
- 3 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。



以上でドライバのインストールは終了です。

- 4 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、ネットワーク接続サービスのリストから「USBモデム」を選択して「詳細」をクリックする



- 5 「モデム」タブをクリックし、「製造元」プルダウンメニューから「その他」、「機種」プルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、「OK」をクリックする



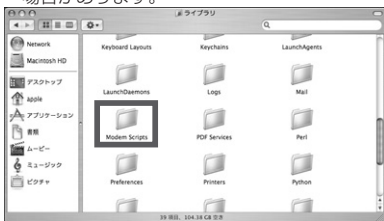
- 6 ネットワーク設定画面で「適用」をクリックする

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

## ■ Mac OS X v10.3.x ~ 10.4.x の場合

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 2 USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する  
「パソコンと接続する」(※5-2ページ)
- 3 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。



- 4 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する



- 5** 「モデム」タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、[今すぐ適用]をクリックする



### ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

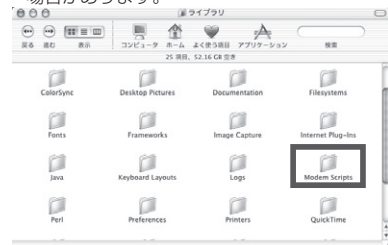
### ■ Mac OS X v10.2 以前の場合

- 1** パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
- 2** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

「パソコンと接続する」(P5-2ページ)

- 3** 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。

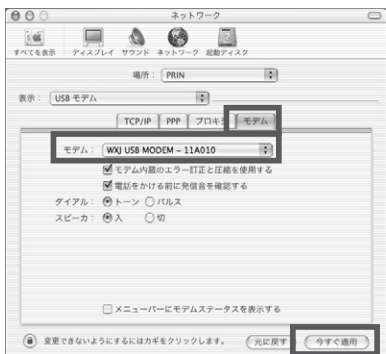


ご使用のシステムのバージョンによっては、「ライブラリ」は「Library」と表示されています。

- 4** 「システム環境設定」から「ネットワーク」を選択し、「表示」プルダウンメニューから「USBモデム」を選択する



- 5** 「モデム」タブをクリックし、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択し、[今すぐ適用]をクリックする



### ご注意

- ・ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

## ■ Mac OS 9の場合

**1** パソコンと本電話機の電源を入れ、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる

**2** USBケーブルで、パソコンと本電話機を接続する

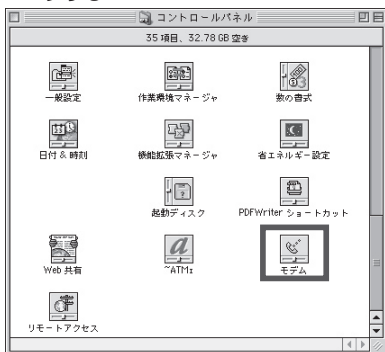
「パソコンと接続する」(※5-2ページ)

**3** 付属のCD-ROMの中にある「WXJ USB MODEM - 11A010」を、デスクトップ上の「MacintoshHD※」をダブルクリックし、「ライブラリ」フォルダ内の「機能拡張」フォルダ内の「Modem Scripts」フォルダにコピーする

※ご使用のパソコンによっては、名前が異なる場合があります。



**4** 「システムフォルダ」内の「コントロールパネル」の「モデム」をダブルクリックする



**5** 「経路先」のプルダウンメニューから「USB Modem 1」を、「モデム」のプルダウンメニューから「WXJ USB MODEM - 11A010」を選択する

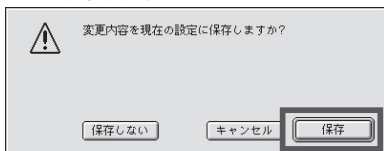
「経路先」プルダウンメニューに「USB Modem X」(Xは任意の数字)と表示されることもあります。



### ご注意

- ドライバ名称の下6桁は、ソフトウェアの更新に合わせて変更されます。

## 6 「モデム」ウィンドウを閉じ、[保存]をクリックする



以上で本電話機をモデムとして動かすための準備が終了します。

## ■Windows でご利用になる場合のご注意

- インストール時に割り当てられるCOMポート番号が、パソコンによっては内蔵モデムや赤外線ポート (IrDA) のCOMポート番号と重なってしまう場合があります。重なった場合、正常に動作しなくなりますので、内蔵ポート、赤外線ポート (IrDA) をデバイスマネージャ上で「使用不可」にするか、モデムポート先を変更してからお使いください。
- WXJ USB Modem - 11A010はモデムとしてインストールされますが、すでに複数のモデムがインストール済みのパソコンにインストールした場合、正常に動作しなくなることがあります。このような場合は、すでにインストール済みの各種モデムを、「モデムのプロパティ」から削除してください。
- Windows XP搭載のパソコンを本電話機と接続するとき、パソコンがモデムとして認識するのにしばらく時間がかかります。そのため、本電話機との接続の直

後に通信を開始しようとするとき正常に動作しませんのでご注意ください。本電話機と接続後、10秒ほど時間をおいてから使用してください。

- Windows XP、Windows 2000でお使いの場合、ダイヤルアップ接続やターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、パソコンの動作が不安定になることがあります。USBケーブルを抜いたあとは、10秒ほど時間をおいてから再度USBケーブルを差し込むようにしてください。

## ■Macintosh でご利用になる場合のご注意

- Mac OSでお使いの場合、リモートアクセスやターミナルソフトなどによりCOMポートをオープンした状態でUSBケーブルを抜くと、システムの状態が不安定になります。USBケーブルは、必ずMacintosh側でCOMポートをクローズ (接続断) したあとに抜いてください。また、このような操作を行った場合には、Macintoshを再起動してください。

## ■サポートWebサイトのお知らせ

- インストールがうまくいかない場合には、サポートWebサイトのQ&Aもご覧ください。サポートWebサイト <http://www.jrcphs.jp/> このサイトへはパソコンからアクセスしてください。

## ■USBドライバが誤認識された場合の対処法 (Windows XPおよびWindows 2000)

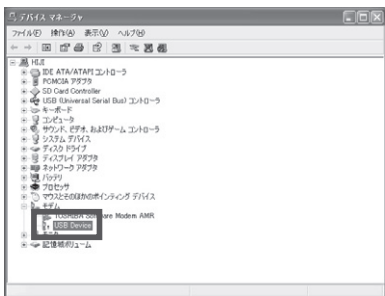
- インストールを中断し、USBドライバが誤認識されてしまった場合は、デバイスマネージャから誤認識された「USB Device」を削除し、再度USBドライバのインストールを行います。(下記の画面はWindows XPの場合の例ですが、操作はWindows 2000の場合も同様です。)

### 1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する

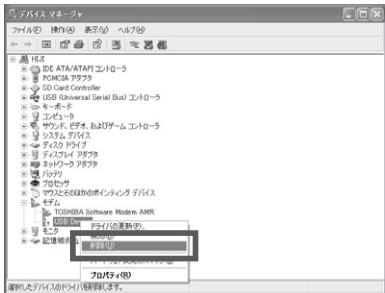
### 2 デバイスマネージャを表示させる

### 3 「モデム」アイコンの先頭の「+」をクリックする

先頭に「!」の付いた「USB Device」が表示されています。



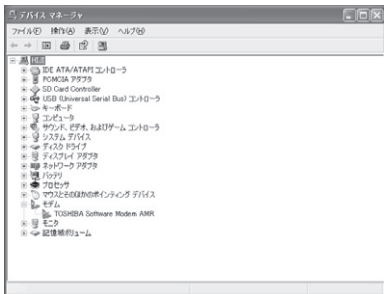
### 4 「USB Device」を右クリックし、「削除」を選択する



### 5 「OK」をクリックする



### 6 「USB Device」が消えていることを確認する



以上の操作のあと、再度USBドライバのインストールを行ってください。

## 通信方式を設定する

### 64kPIAFSの選択

64kPIAFS通信の方式を、ベストエフォート型とギャランティー型から選択します。

#### 1 待ち受け画面で

#### 2 ▶ または

- (ベストエフォート型) を押すと  
基地局の利用状況や電波の状況により、64kbpsと32kbpsの2つの通信速度がフレキシブルに選択されます。ウィルコムと公衆サービスの契約をされている場合は、「ベストエフォート型」を選択してください。
- (ギャランティー型) を押すと  
通信速度を64kbps固定とします。64kbpsの通信速度が確保できないときには通信を切断します。

## お知らせ

- お買い上げ時には、データ通信方式は「ベストエフォート型」に設定されています。ウィルコムと契約されている場合は「ギャランティー型」をご利用になれません。他の事業者と公衆サービスの契約をされている場合は、各事業者にご確認のうえ、必要に応じて「ギャランティー型」に設定してください。
- オフィスモードで使用する場合は、オフィスシステム（PBX）が対応している方式を設定してください。「オフィスモードで使う」（※8-3ページ）
- 本機能を「ベストエフォート型」に設定している場合でも、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##41」が入力されているときは、ギャランティー型で発信します。また「ギャランティー型」に設定している場合、アクセスポイントの電話番号の末尾に「##4」が入力されているときは発信できません。「通信方式の設定」（※同じページ内です。）
- 64kギャランティー型での発信の際、フォールバック機能（64kbpsで通信ができない場合に自動的に32kbpsに通信速度を落とすとしてリダイヤルする機能）には対応していません。

## 通信方式の設定

本電話機での通信方式の設定とは別にパソコン側で、どのアクセスポイントに接続するかによって、通信ソフトの設定を変える必要があります。

### ● パソコンの通信ソフトの設定を変えるには

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を入力するとき、続けて下表の番号を入力します。

アクセスポイント	電話番号に続けて
4xパケット方式*、2xパケット方式*	##64
1xパケット方式*	##61
64kPIAFS(ベストエフォート)	##4
64kPIAFS(ギャランティー)	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式*	##7

発信者番号通知の設定に関係なく本電話機の電話番号がアクセスポイントに通知されますので、あらかじめご了承ください。「発信者番号通知を設定する(番号通知)」（※6-2ページ）

※ 4xパケット方式、2xパケット方式、1xパケット方式、フレックスチェンジ方式

対応の料金コースをご利用のお客様は、32kPIAFS、64kPIAFSで通信を行う場合、パケットごとの課金ではなく時間で課金されるため、別途料金が発生しますのでご注意ください。

## お知らせ




- データ通信を行うための詳しい設定や操作は、お買い求めのパソコン、PDA、通信ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- 64kPIAFS方式をご利用になる場合は、「64kPIAFSの選択」（※5-14ページ）もご覧ください。

## データ通信で発信する

### 1 USBケーブルで接続したパソコンでデータ通信の発信操作をする

通信方式の種別がアイコンと文字で表示され、発信先の電話番号が点滅します。

#### ● 画面に表示される文字とアイコン

通信方式	表示文字	アイコン
4xパケット方式、2xパケット方式	データ通信 パケット	
1xパケット方式	データ通信 パケット	
64kPIAFS(ベストエフォート)	データ通信 64kPIAFS BE	
64kPIAFS(ギャランティー)	データ通信 64kPIAFS GR	
32kPIAFS	データ通信 32kPIAFS	
フレックスチェンジ方式	データ通信 フレックス チェンジ	

アクセスポイントに接続すると、画面に通信時間が表示されます。

### 2 パソコンから切断操作をする

## ご注意

- 本電話機をパソコンと接続してパソコンでデータ通信を行っているときに、電話機単体でのインターネット接続はできません。
- 電話機単体でインターネット接続やEメールの送受信を行っているときは、本電話機をパソコンと接続してのパソコンでのデータ通信はできません。
- データ通信で発信するときに、料金分計サービスを利用することもできます。「料金分計サービスを利用する(有料)」(※ 7-57ページ)

## 「エラー 692:」が表示される場合 (Windows XP)

ダイヤルアップ接続時に「エラー 692:」のメッセージが表示され、接続できない場合は、インストールされたUSBドライバの、モデムに対するハードウェア設定を変更します。

- 1 パソコンと本電話機の電源を入れ、USBケーブルで接続する
- 2 [スタート]メニューから[接続] → [すべての接続の表示] を選択し、利用するダイヤルアップ接続のアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択する

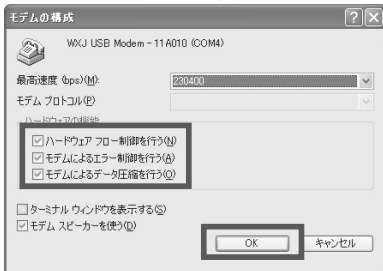


- 3 [構成] をクリックする



- 4 「ハードウェアの機能」の項目にチェックが入っているかどうかを確認し、[OK] をクリックする

チェックが入っていない場合は、以下の画面のようにすべてにチェックを入れてください。



- 5 [OK] をクリックする





## ATコマンドで音声発信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、パソコン側の通信ソフトでATコマンドを使用して音声発信を行うことができます。

### 1 待ち受け画面で、パソコン側の通信ソフトから「ATD○○○○○○○○#0」と入力する


例えば03-1234-5678に発信する場合は「ATD0312345678#0」と入力します。本電話機に「発信中」と表示され、電話がかかります。

### 2 通話する

相手が電話に出ると、通信ソフトには「CONNECT」と表示されます。USBケーブルを接続したままでもUSBケーブルを抜いても、通話することができます。

### 3 通話を終了するときは を押す 通話が終了し、「通話終了」と表示されます。

#### お知らせ

- パソコンと接続しているときに音声着信があっても、ATコマンドで応答することはできません。電話を受けるには  を押してください。
- 通信ソフトは別途ご用意ください。

## パソコン接続中に着信する

本電話機をパソコンと接続しているときに、データ着信があった場合、着信操作はパソコン側で行います。



### 1 着信音が鳴る

発信元の電話番号が表示されます。「データ通信で発信する」(※5-15ページ) 公衆モードで設定した着信音が鳴ります。「着信音を設定する」(※2-39ページ) 着信ランプが点滅します。

### 2 パソコン側でデータ着信の操作を行う

通信が開始されると、画面に通信方式の種類がアイコンと文字で表示され、通信時間が表示されます。

#### お知らせ

- 本電話機が「ダイヤルロック」・「リモートロック」されているとき、パソコン側からの発信および通信モードの切り替えはできません。ただし、「ダイヤルロック」されているときは、データ着信は受けられます。「ダイヤルをロックする(ダイヤルロック)」(※6-8ページ)
- USBケーブル未接続のときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に  が表示され、リマインダーが点灯します。
- 「安全運転モード」が設定されているときにデータ着信があった場合、不在着信となり待ち受け画面に  が表示され、リマインダーが点灯します。

## データ通信中の着信を設定する

データ通信時に、電話がかかってきたときに、それを受けるかどうかを設定します。PIAFS通信(音声通話も含む)とバケット通信のそれぞれについて設定することができます。

## PIAFS 通信中の着信を設定する(音声、PIAFS通信中着信)

PIAFS方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。設定方法は、「通信中の着信を設定する」(※2-7ページ)と同じです。

#### お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています(通信中の着信を受ける)。
- 「音声、PIAFS通信中着信」が「ON」の場合、画面には着信の種類に応じて次のメッセージが表示されます。  
音声着信(通常の電話)の場合→「着信がありました」  
Eメール自動受信着信の場合→「センターにEメールがあります」  
データ着信の場合→「データ着信がありました」  
位置情報通知着信の場合→「位置情報通知着信がありました」  
なお、ライトメールは受信不可となります。

## パケット通信中の着信を設定する（パケット通信中着信）

パケット方式での通信中に電話がかかってきた場合についての設定です。

**1** 待ち受け画面で   

**2**   ▶  または 

パケット通信中の着信が設定され、「設定しました」と表示されます。

●  (ON) を押すと

パケット通信時の着信を受け付けます。

●  (OFF) を押すと

パケット通信時の着信を受け付けません。

### お知らせ

- お買い上げ時には、「ON」に設定されています（通信中の着信を受け取る）。
- 「パケット通信中着信」が「ON」の場合、本電話機をパソコンと接続してパケット通信を行っているときに音声着信、ライトメール受信、Eメールのバックグラウンド受信、データ通信着信が可能です。ただし、本電話機での通信が優先されるため、パソコン通信中に本電話機側で着信動作があるとパソコン通信は切断されます。通信のタイミングによっては着信できない場合もあります。